

1、2年生

家庭学習のすすめ方 掲示用

学習時間の目安
10～20分以上

- 何でも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。

◇いっしょにして、やる気をおこす◇

いっしょに、学習内容ややり方を決めましょう。
できたことをほめることで、やる気が高まります。



ポイント

①子どもをみる

- ・「家でも勉強する」という習慣をつけましょう。
- ・少ない時間でも、いっしょに学習することを大切に、いっしょにできない時は、後で目を通しましょう。
- ・子どもといっしょに持ち物を用意しましょう。

②学習環境について

- ・「学習する場所」をつくりましょう。家族がそばにいることも大事です。
- ・テレビやゲームは消しましょう。

③学校との協力

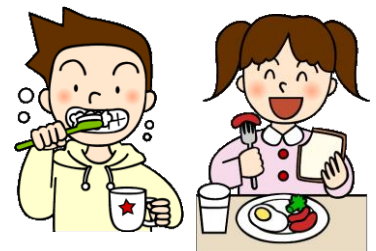
- ・学校からの連絡やたよりをいっしょに確かめましょう。
- ・連絡帳は、毎日確認してください。

低学年での家庭学習

習慣づけの1・2年生

- ・ひらがなの練習をしよう。(1年生)
- ・習った漢字の読み書きをしよう。
(漢字プリント・漢字ドリルノート等を使って。)
- ・算数の復習をしよう。
(算数の教科書 + 算数プリント、算数ドリル等を使って。)
- ・毎日、国語の教科書を音読しよう。
(お家の人に聞いてもらおう。)
- ・作文にチャレンジしよう。
(1年生は、文字の勉強が終わってから。)
- ・九九の練習をしよう。
(2年生・夏休みから)

生活の習慣



自分の努力!



3、4年生

家庭学習のすすめ方 掲示用

学習時間の目安
30～40分以上

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。

◇認めて、ほめて、自信をつける◇

家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によって、やる気を起こします。宿題をみるなど手助けをして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。



ポイント

①子どもをみる

- ・がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。
- ・子どもが自分で持ち物を用意できるようにしましょう。

②学習環境について

- ・学習を始める時間を決めましょう。
- ・テレビやゲームは消しましょう。

③学校との協力

- ・学校からのたよりを家族に手渡す習慣をつけましょう。
- ・家庭でも学校でも子どもの話をよく聞きましょう。

中学年での家庭学習

自分の努力!

チャレンジする3・4年生

- ・漢字や計算の宿題を忘れずにしよう。
- ・国語の教科書を音読しよう。「音読カード」を使います。
- ・「漢字練習ノート」に、苦手な漢字を練習しよう。

★「学習ノート」の使い方

- ・日記を書こう。
- ・計算ドリルの問題をもう一度してみよう。
- ・本やインターネットで調べた事をまとめてみよう。



家族の協力

5、6年生

家庭学習のすすめ方 掲示用

学習時間の目安
50～60分以上

- 高学年でも、まだまだ言葉かけは必要です。
- 苦手な教科こそ力をいれるようにしましょう。
- 体も心も急激に変化します。心が不安定になることもあります。家庭と学校で連絡をしっかりと取り合しましょう。

◇認めて伸ばす◇

子どもの話をよく聞き、個々の成長を認めることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。



ポイント

①子どもをみる

- ・計画を立てて自主的に学習を進めるよう声かけをしましょう。
- ・漢字や計算をきちんと覚えているか確かめてあげましょう。
- ・子どものちょっとしたがんばりをほめましょう。
- ・他の子と比べず、昨日のわが子と比べてほめましょう。

②学習環境について

- ・夕食前、早朝など学習に取り組む時間帯を決めましょう。
- ・テレビやゲームは家族で話し合って時間を決め、学習中は、スイッチを切りましょう。

③学校との協力

- ・気になることがあれば、担任の先生と話し合いをしましょう。
- ・家庭でも学校でも子どもの話をよく聞きましょう。

高学年での家庭学習

家族の協力



調べ、まとめ、伝える力を身につける5・6年生

- ・学習を始める時刻を決めて、宿題を丁寧に毎日忘れずにしよう。
 - ・国語の教科書を音読しよう。おうちの人に聞いてもらおう。
 - ・習った漢字や苦手な漢字を書いて覚えよう。
 - ・計算ドリルや教科書の問題をもう一度しよう。
 - ・心に残ったことを日記に書こう。会話やその時の気持ちも書こう。
 - ・興味のあることを本やインターネットで調べてまとめよう。ふり返り(分かったことや感想)も書こう。
- くり返すことで確かな力が身につきます。

自分の
努力!



中学へ向けて

学習時間の目安
60～90分以上

高学年になると中学校に向けた学習についても意識していく必要があります。ここでは、小学校と比べて中学校では何が変わるのかとその変化に向けた取り組みのポイントについて述べます。

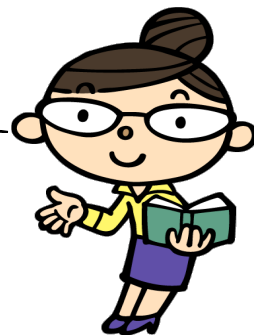
◆教科ごとに先生が変わります◆

中学校では、教科ごとに教える先生が変わります。小学校のように、担任の先生がほとんどの教科を教えるわけではありません。よって、板書の仕方、ノートのとめ方、宿題の出し方などが先生によって違ってきます。それぞれの先生の教え方にいかに早く慣れて対応していくかが大事になってきます。



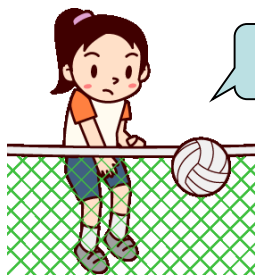
◆テストのやり方が変わります◆

中学校では中間テストや期末テストといった定期テストに変わります。自分の現時点での学力をはかる実力テストもあります。テストの回数は減りますが、テストの範囲が広がるのです。そこで、復習を中心としたテスト対策が必要となってきます。



◆生活のリズムが変わります◆

中学生になると授業だけでなく部活動も始まり、学校で過ごす時間が長くなります。その分、帰宅時間が遅くなります。そして、余裕のあった家庭での時間が限られたものとなってきます。その中で、家庭学習の時間を確保していかなければなりません。



ポイント

①授業を大切に！

「教科によっては予習をして授業にのぞむ(国語の意味調べや音読、社会の調べ学習等)。
※ 中学校では、英語の意味調べや音読も大切になってきます。授業でわからなかったところは先生や友達に聞いてその場で解決する。出された宿題や課題は最初に取り組み、確実に提出する。

②テスト対策を！

わからなかったところは何度も繰り返して復習する。
(次の日、3日後、1週間後)漢字や社会科の暗記物は宿題だけでなく、毎日繰り返して覚える。
定期テストの前には計画を立てて学習に取り組む。

③学習時間の確保

テレビやゲームの時間を制限していく。大人の都合で子どもの時間を犠牲にしない。どんな日でも毎日学習する習慣を身につける。
中学校では2時間が目安。根気よく集中して取り組む時間と環境を整える。